

# 保育所サービス評価結果記入様式

大津市立ひえい平保育園 「やまのこひろば」 (令和2年12月4日評価実施)

## 【共通評価基準】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	幼稚園と保育園の「幼保一体化施設(やまのこひろば)」は、自然環境に恵まれた地域性を活かして、保育・教育目標を設定しており、入園のしおり・保育のまとめ等に詳細に記載されている。大津市公立幼保育園のため理念、基本方針等が明確に示されており、毎月1回の職員会議等で周知が図られている。また、必要に応じて保護者会を開催し、保護者会役員を通じて園の理念や基本方針の周知に努めている。保護者へのアンケートでも「保育園の理念や方針について園から説明がありましたか」に対して、全員が「ありました」と回答している。園長会や代表者会の報告は月1回の職員会議で報告・伝達・確認をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるような具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	大津市立公立幼保育園であり、大津市の「大津市子ども・若者支援計画」に基づき、幼保一体化施設としての地域性を捉えた保育・教育目標を立案し実践している。発達保障では「豊かな環境(自然環境や身近な事象など)の中で、心身ともに調和のとれた発達を図る」としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	市の支援計画に則った年間事業計画を立てて職員に周知している。また、年間研修計画を立て職員が研修に行ける体制を整えている。虐待対応に関することや人権研修は、園内でのグループワーク等を行い人材育成を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	大津市の保育担当課である幼児政策課において中・長期計画を作成している。園長会・代表保育士会が毎月1回行われており、経営課題や問題点の共有化を図り改善に向けての取り組みを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	中・長期計画を反映した年間事業計画を立案し「入園のしおり」、「やまのこだより」で行事計画等を保護者へ周知している。各事業に対する評価は、保護者会や職員会議で行っている。年度の終わりには、事業ごとに必ず会議で話し合い、次月の計画に反映する等、常に見直しをおこなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果		評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	☑	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画は年度末に職員全員が参加した会議で、意見の集約が行われている。今年は新型コロナウイルスの影響により、計画的な実施が十分できなかった。新年度以降も、職員会議を毎月1回実施し評価結果に基づいて事業計画の見直しに取り組んでいる。		☑	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			☑	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			☑	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	☑	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	年度初めに、保護者面談を行っている。協力者会議が年3回あり、地域の方の協力を得やすいように地域住民へ園だよりを回覧している。また、地域内の掲示板に園児と一緒に掲示に回っている。		☑	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			☑	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果		評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	☑	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	各クラスの公開保育をおこない子供たちの姿(様子)を見てもらう取り組みをしている。また、保護者一人ひとりの保育カンファレンスを実施している。「保育の見える化」を意識して、懇談会以外に誕生月には保護者に場面を切り取り、具体的に子どもの成長を伝えられるよう工夫している。保育者一人ひとりが共に成長できるよう相談・情報共有がしやすいよう努めている。		☑	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			☑	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	☑	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	大津市保育園共通の評価基準・評価表があり、評価結果に基づいて改善策を実施している。やまのこひろばの「保育のまとめ」で、園長の経営管理状況、教育課程、次年度に向けての展望、年間事業計画のまとめ、評価等が記載されており、必要に応じた改善計画が実施されている。振り返りと今後の課題についても評価できている。		☑	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員等の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			☑	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			☑	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者 評価結果		評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	☑	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	公立幼保育園の方針に基づき、園長、代表保育士(副園長)をはじめとした業務分担表と事業分担表が作成されている。園長は年度初めに全職員に組織方針を表明すると同時に、保育の見える化に力点を置いて地域住民に対しても情報発信を行っている。		☑	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			☑	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	☑	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	法令順守については、園長始め役員、非常勤職員は必ず年1階の研修を受講している。園長は環境への配慮等も含む、重点目標を10項目あげて(環境オームス)法令順守に取り組んでいる。また、コンプライアンスアンケートを年1回実施し、気になる事があれば面談を実施している。		☑	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			☑	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	年間研修計画を策定し、園独自の新人研修を始めとしてステップアップ計画等も整備されている。園内研修、園外研修に積極的に参加できる取り組みを行っている。特に、園内で行う障害児研修や人権研修には職員全員が参加できるようにしている。研修等に参加した職員は、伝達研修やグループワーク等で情報共有を図っている。職員との個別面談は年2～3回行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	園長の方針である「地域住民に保育の見える化」に取り組んでいる。公開保育を始めとして、協力者会議や各種団体等との地域交流を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

## II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	公立の保育園であるため、人材確保に関しては市の計画に準じている。また、専門研修についても階層別研修が実施されており、随時参加してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	人事評価基準は大津市の基準で定められている。園においても人事評価は年3回行っている。客観的評価ができるように第一次評価(主任との面談)、第二次評価(園長)、第三次評価(課の主幹)が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	市が策定した就業規定に基づいて労務管理はできている。職員のヒアリングでも、「職員間の人間関係も良く働きやすい職場です」との返答であった。職員の勤続年数も長く離職する職員はゼロである。また、有給休暇はできるだけとれるように配慮しており、勤務希望も土曜日出勤者に対しては、必ず平日に休みが取れるよう配慮している。ただし、園は少人数規模であり各クラス担任であることもあり、有給休暇は消化できていない状況である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	毎年4月に職員会議を行い、職員の質向上に向けた話し合いを行っている。初任者研修、ステップアップ研修、中堅リーダー研修等のキャリア研修を行っている。復命書等も職員の負担にならないように簡素化し、勤務時間内に書けるようになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。

18	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	毎年4月に研修計画が作成されている。職員会議で研修内容を共有している。研修目的が共有されて、新任研修、対象別研修、発達に関する研修、障害児保育に関する研修、管理職研修等々、園内外研修を受講している。また、毎月の職員会議でも研修内容を共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19		③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	年間研修計画が作成されている。職員会議で研修内容の共有を行い、一人ひとりが自分に必要な研修項目について希望のもと研修に参加している。園長は職員が公平に研修に参加できるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生の受け入れ態勢は整備されている。保育にかかわる専門職の研修・育成についてのマニュアルも整備されている。卒園した方が実習に来ることが多い。中学生のボランティア(職場体験)実習も来ている。学校の教師が実習生を見に来た時には教師と保育士の情報交換ができています。ただ、実習指導者に対する研修が実施出来ていませんでした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	専門職種の特徴に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

### II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	園の情報は天津市のホームページの中で公開されている。園長は保護者や地域住民に対して「幼保育の見える化」に取り組んでいる。公開保育を積極的に実施し各自治会、各種団体との情報交換を行っている。野菜作りのボランティア、花づくりボランティア、折り紙のボランティア等を受け入れ、幼保一体化施設の役割や存在意義を明確にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	天津市立公立幼保育園のため、事務、経理、取引等に関しては、公正かつ透明性の高い経営・運営が行われている。会計監査時には、天津市からの指導が厳しく行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

### II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	園の立地条件もあって、地域住民との交流は盛んに行われている。地域住民からの関心も高く、自治会や各種団体、民生児童委員等の交流が盛んである。「やまのこひろばだより」での地域回覧を積極的に行い、幼保一体園の独自の取り組みを情報公開している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。

24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	☑	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティア受入れ様式を作成している。年間を通しての野菜作りボランティア、花づくりボランティア、毎月1回4・5歳児を対象とした絵本読み聞かせ、民生児童委員の折り紙づくり、昆虫の先生等がボランティア活動を行っている。年に2～3回「スマイル会」(小学校5年生と5歳児)、「ニコニコ会」(小学校3年生・4年生と4歳児・5歳児)を行い、隣接している小学校との交流を図っている。		☑	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			☑	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			☑	オ	学校教育への協力を行っている。
		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)	
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	☑	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	幼保育園として必要な社会資源は明確にされている。大津市が出している子育てハンドブックもある。虐待対応については全職員が周知しており、「中部ブロック子育てネットワーク会議」にも参加している。虐待が疑われる場合には、子供家庭相談室に即時連絡を入れる体制を整えている。		☑	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			☑	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			☑	オ	地域に適当な関係機関・団体がいない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			☑	カ	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)	
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	☑	ア	保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	新型コロナウイルス対策を実施したうえで、毎日園庭開放を行っている。未就園の親子対象に地域のすこやか相談所、民生児童委員、社会福祉協議会と合同で、「にこにこキッズ」を毎月1回開催し、気軽に相談に来れる態勢を整えている。		☑	ウ	保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			☑	エ	災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			☑	オ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	☑	ア	保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	子育て相談の看板を掲示している。子育てサロンの集いを実施している。民生児童委員との懇談の機会をつくり、子育てに困っている母親の情報等を取り入れるよう努めている。		☑	ウ	地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			☑	エ	関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			☑	オ	把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			☑	カ	把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

### III 適切な福祉サービスの実施

#### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)	
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	☑	ア	理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	子どもの尊重と基本的人権への配慮についての取り組みは積極的に行われている。職員は年3回の研修に参加しており、グループワークも実施している。以前には外国籍の子どもが入園しており、文化の違いにも配慮した保育を実践している。		☑	ウ	子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			☑	エ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			☑	オ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			☑	カ	子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			☑	キ	性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			☑	ク	子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)

29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	大津市立公立幼保育園であり、子供のプライバシー保護についての規程・マニュアルが整備されている。子供たちがトイレを使用するときには、衝立等を使用している。住所・氏名の記載時についても、保護者の同意を必ず得ることにしている。行事の写真の掲載や販売についても、保護者の同意を得るようにしている。子供の虐待防止・権利擁護についてのマニュアルも整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		第三者評価結果		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）	
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	大津市のホームページに理念や基本方針、保育内容等が紹介されている。園見学は随時受け付けている。「入園のしおり」等も用意している。また、園の取り組みを紹介する際の保育園だよりや掲示物は「見える化」を意識しており、写真を積極的に取り入れ視覚でつたわりやすく工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	「入園のしおり」を保護者に配布している。緊急時の保育の開始・変更や行事の開催有無などに当たっては、書面ではなく保護者連絡メールで伝達している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	幼保一体型のメリットがあり自園内（保育所幼稚園間）では規定の書面で引き継いでいる。小学校入学にあたっては、保育指導要録と連絡会で引き継いでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		第三者評価結果		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）	
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。（保育所）
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。（保育所）
	保護者に対し利用者満足度調査としてアンケートを実施している。保護者への個別面談、保護者懇談会も積極的に行っている。利用者満足度調査は、園長、代表保育士が主に担当している。職員会議での分析・検討を行い、園長、代表保育士が具体的な改善策を行っている。また、職員全員で改善策を検討・共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。（保育所）
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）	
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決策の仕組み等については、ホームページに掲載されている。「入園のしおり」にも、苦情等解決についての説明が掲載されており「大津市保育所苦情等解決実施要項」に基づき「円滑な解決に努めます」と記載がされている。園としても透明性の確保に重点を置き意見箱を設置している。しかし、苦情内容を検討はしているが、保護者へのフィードバックが十分にできていない。苦情内容と解決策を保護者へ十分に周知することが必要です。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。

35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	ア・イの項目に対して更なる工夫が必要とした。園長が取り組んでいる「保育の見える化」に、更に取り組んでもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	保護者からの意見箱は設置されている。アンケートでの園やクラス、子どもの様子について、「園だより」、「クラスだより」、「掲示」などを通じて分かりやすく伝えられています。また、アンケートにおいて「送迎時には保育士との会話を通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がなされていますか」の問いには100%の肯定率であった。保護者から意見をもらった時は、その都度改善に向けた取り組みを行っている。保護者と話し合い、改善点を提示している。苦情は受付担当者（代表保育士）解決責任者（園長）と定め対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者評価結果		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネージャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。
	事故防止対策には職員全員が取り組んでいる。事故発生時の対応と安全確保についての責任と手順はマニュアルで明確にされており、職員にも周知できている。ヒヤリハット記載用紙も整っており、事故発生時の保護者への情報提供もできている。今後は、施設内の危険場所マップ等の作成を工夫してもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症対策に関しては、ホームページに掲載されている。「入園のしおり」にも、学校における予防すべき感染症及び出席停止の期間の基準が掲載されている。インフルエンザやノロウイルス対策への予防と発生時の対応マニュアルは整備されている。大津市幼児政策課のマニュアルは、平成23年改訂版であり、現在改定に取り組んでいるとのこと。今年度は新型コロナウイルスが流行している時でもあり、力の項目である新型コロナウイルス感染症予防対応マニュアルを含めて、早急に改訂版の作成を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。（保育所）
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	「災害時対応マニュアル」が整備されている。保護者会等を通じてパワーポイントを使用し、災害発生時の説明を行っている。親子散歩等の機会を利用して防災倉庫の設置場所、備蓄品等の説明を行う予定である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	「大津市の基準となる全体的な計画」が策定され、その中に具体的な実施方法が掲載されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	見直しに関する仕組みも、「大津市の基準となる全体的な計画」の中に、標準的な実施方法が文章化され適切な保育が提供されている。指導計画は毎月見直しを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	アセスメントにもとづく指導計画策定の責任者は園長が担っている。各会議には園長は必ず出席している。各年齢別のチーム会議には、代表保育士が出席し、内容を園長に伝えている。アセスメント用紙等については、大津市全体で決めている様式(ドキュメンテーションシート)が備わっている。障害児支援計画も整備されており、計画に基づいて面談等も実施している。幼児政策課には保育相談窓口が設けられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	年間指導計画、月間指導経計画、個別指導計画があり、各年齢クラスにおいて、指導計画の評価・見直しが行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	子どもの発達状況や生活状況等は、児童票に全て記載されている。担当保育士、代表保育士、園長まで内容の把握がされており、情報の共有化が行われている。幼保一体化により幼稚園教員から学ぶことも多く、記録の書き方は幼保一体化になる前からわかりやすい記録になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	公立幼稚園であり、記録の管理体制は確立されている。職員は個人情報保護法を理解し遵守している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

# 【内容評価基準】

## IV-1 保育内容

IV-1-(1) 全体的な計画（保育課程）の編成		第三者 評価結果		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（保育課程）を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画（保育課程）は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育方針などの趣旨をとりあて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画（保育課程）は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	大津市のホームページに理念や基本方針、保育内容等が紹介されている。幼保一体化施設としての地域性を捉えた保育・教育目標を立案し実践している。発達保障では、「豊かな環境（自然環境や身近な事象など）の中で、心身ともに調和のとれた発達を図る」としている。各年齢の発達に合わせた工夫をした計画を実践し、職員会議等で定期的に評価できている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画（保育課程）は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画（保育課程）は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画（保育課程）は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	新園舎は新しい建物で、併設の旧園舎においても比較的美しく保たれた建物である。子供たちが使用するトイレは全て全面改装されている。周囲が山に囲まれており、日当たりも良く室内の温度、湿度、換気、採光等は最適な環境が保たれている。静かな環境の中で子どもたちは元気に活発に生き生きと過ごしている。段ボールを利用して子どもたちで作った、虫たちが集まって生活している様子を表現した大きな木の作品が部屋の中に飾られていた。ノロウイルスや新型コロナウイルス感染予防への消毒と手洗い設備は整っており、衛生管理はしっかりとできている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	子どもの発達過程、家庭環境から生じる一人ひとりの個人差を十分に把握した保育が出来ている。0歳児の子どもに対しても、気持ちを汲み取る努力をして関わっている。アンケートでも「お子さんが楽しく生活し、元気に遊ぶ環境が整えられていると思いますか」、また、「お子さんは喜んで保育園に行きますか」の問いに対して、共に100%の肯定率であった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	一人ひとりの子どもの生活のリズムに合わせた保育を行っている。朝は、送迎時に保護者から自宅での様子を聞き取っている。おはようタイムやもりもりタイム時間を設けて、発達に応じた遊びの時間を作っている。また、ゆったりタイムやゆうやけタイムも導入している。幼保一体化であり一人ひとりの生活のリズムが違うので、職員（保育士）は子どもの主体性を尊重して関わっている。連絡帳に家庭での子どもの様子を書いてもらい共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	園舎の玄関先には、地域の方が作った木製のおもちゃが整理整頓されて置かれていた。子どもたちが自由に使って遊ぶことができるように工夫している。園舎の周囲は山に囲まれた自然に恵まれており、園庭も広く、戸外で遊ぶ時間を計画的に実施している。遊具や遊ぶ教材は、子どもたち自身で選んで遊べる取り組みをしている。5歳児になると、子どもたちの意見を取り入れて共同での作品をつくる取り組みをしている。一つの作品をみんなで作る作業に力を入れている。今年5歳児がキリンをつくり、4歳児は大きな木を作って、虫たちが住む家を作り、教室に飾ってあった。玄関先には、毎年子どもたちが作った作品が展示されていた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	

51	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	乳児保育室は広々として環境整備され浴室も完備されていた。0歳児がハイハイできる環境を整えていた。保護者と連絡帳を利用して0歳児の情報交換・情報共有もされていた。離乳食については、0歳児が食の幅をできるだけ広げられる工夫をしているとのことであった。		☑	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			☑	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			☑	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			☑	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に ⑥ 育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1歳児になると自我が出てくる。うまくいかないと不安になる子どもたちに対しては、スキンシップをしっかりと取って関わっている。また、2歳児は遊びを通して「かっこいい自分」が分かるので、保育士は十分に子どもたちの話を聞くようにしている。各教室では子どもたちが活発に遊んでいて生き生きとしており、保育士が適切な保育を行っていることが理解できた。地域全体が自然豊かな場所なので園庭以外に「どんぐりの森」へ出掛けたり、積極的に自然に触れられる機会を設けている。		☑	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			☑	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			☑	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			☑	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			☑	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に ⑦ 展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	3歳以上の子どもたちには、一人ひとりがやりたいことを尊重して関わっている。みんなとつながりたい気持ちが芽生え、集団の中で安定して遊べる取り組みをしている。異年齢の交流も積極的に行っている。子どもたちの発達過程については、児童要録で小学校等に引き継いでいる。		☑	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			☑	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	園舎は比較的新しくバリアフリー化されている。遊具等は危険個所の点検を定期的に行っている。火災・災害発生時の避難用のスロープが設けられていたが、現在は使用不可の状態になっており撤去が望まれる。園長の方針として、障がい児研修には重点を置いており、職員(保育士)は全員が研修に参加できるようにしている。公立幼保育園であり、年1回の事例検討会等の研修が行われている。大津市やまびこ支援センター、北部幼保育園、東部幼保育園等の研修会があり参加している。研修で学んだ内容は、職員会議等で情報共有している。障がい児支援体制としては、大津市の巡回相談も設けられている。		☑	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			☑	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			☑	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			☑	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			☑	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			☑	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	17時以降は異年齢保育となり一つのクラスに集まって、子どもはそれぞれ好きなおもちゃで遊んだりしている。夕方用のおもちゃも用意している。保育士同士の引継ぎがしっかりとできるように工夫している。折り紙好きの保育士がおり、子供たちは折り紙を使っの遊びをしている。		☑	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			☑	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			☑	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			☑	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			☑	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

56	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	小学校が隣接しているため、幼保小交流が盛んに行われている。小学校の先生の出前授業が毎年行われている。小学校の教頭、教務主任の先生が園を訪問している。小学校への一日体験入学も取り入れている。保護者会や「えんだより」で幼保小交流の取り組みを報告しており、子どもも保護者も小学校以降の生活に見通しが持てるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	養護教諭が常時勤務している。保健室も設けられており、ベッドも設置されている。子どもの保健計画は作成されており「入園のしおり」にも保健・給食の項目が設けられている。子どもたちの昼寝の時間帯は、保育士が5分毎に睡眠記録をチェックしている。「えんだより」や「各クラスだより」でも、子どもたちの様子を保護者へ伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健康診断・歯科健診の結果は児童票に記載している。結果は保護者全員に書面で報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー疾患、慢性疾患等の研修に職員(保育士)は参加している。養護教諭が勤務しているため、アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについては、医師からの指示を受けて園長、養護教諭、調理員等は情報共有を行い、事故のない取り組みを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	職員全員が食育の重要性を理解している。野菜作りボランティアの方と野菜作りや玉ねぎの苗を植えたり、ニンジンの種を植えたりしている。成長した野菜は子供たちが収穫している。花づくりボランティアの方と花の苗を植えたりして、季節の花が咲くと子供たちに見せている。箸の持ち方についても保育士はその都度支援している。4歳、5歳になるとおかわりをする子供がいるが、おかわり出来るように食事を整えている。子どもたちの食事状況を見学させてもらった。新型コロナウイルスの影響で、マスクをしたり一定方向で比較的静かに食べていた。アンケート調査で「お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡を受けていますか」については、100%の肯定率であった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
献立表は園の玄関先に掲示されていた。食事の状況や摂取量・残食等は、食事日誌に毎日記載されている。昨日は餅つき大会をしたとのことで、お鏡づくりも子どもたちみんな楽しく作ったとのこと。お誕生日会も毎月行っている。呑み込みの悪い子どもには、流動食にしたりして工夫をしている。調理室の衛生管理は適切に行われている。公立の幼保育園であり、衛生管理体制のマニュアルも整備されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

## IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)		
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
全園児、連絡帳で保護者との情報共有を行っている。アンケート調査で「送迎時には保育士との会話を通じて、園や家庭でのお子さんの様子について、情報交換がなされていますか」については、100%の肯定率であった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)		
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
園長は日々の保育について、「保育の見える化」に重点を置いて取り組んでいる。保護者会や懇談会では、保育の状況を可能な限りパワーポイントを使用して写真を取り入れている。保護者からの相談は、各クラス担任がその都度対応している。言いにくい内容については、園長や副園長が対応している。アンケート調査で「日常的な情報交換に加え、必要なら別の機会を設けて、相談できるようになっていますか」、「園の保育に全体として満足ですか」については共に93%の肯定率であった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
公立幼保育園として虐待防止・人権侵害等の対応マニュアルは整備されている。園長始め職員は虐待研修に積極的に参加している。園内学習会も行っている。職員間での情報共有が図られており、保育士一人ひとりがアンテナを張って小さなことでも見逃さないように努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

## IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)		
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
大津市が独自に作成した保育自己評価表がある。全保育士(職員)は毎年自己評価を行い、保育の質の改善や専門性の向上に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。